

「松下幸之助に学ぶ経営の真髓とは」

～VUCA(不透明・不確実)時代を乗り切る松下流の人づくり～

創業101年目を迎えるパナソニック（旧松下電器産業）の創業者である松下幸之助は、1918年にわずか3名で創業し、一代にて同社を世界屈指の企業グループにまで育て上げました。幸之助は、「綱領」「信条」「七精神」などの経営理念をどのように位置づけ、実践していったのでしょうか。本セミナーでは、「松下幸之助経営理念実践伝道師」として社員研修に携わってきた古望高芳氏（パナソニックOB）より、幸之助の肉声テープを使いながら、幸之助の経営理念の真髓を語っていただきます。皆様ふるってご参加下さい。

【日 時】 2019年7月23日（火） 15：00～17：00
（受付開始14：30）

【講 師】 古望 高芳(こもう たかよし) 氏
三方よしビジネスサポート研究所 所長
松下幸之助経営理念実践伝道師 中小企業診断士



【経 歴】

早稲田大学商学部卒業後、松下電器産業(株)入社。23年間、車載機器関連事業に従事し、2009年社内資格である「松下幸之助経営理念実践伝道師」を取得。社内各階層の人材に対し、経営理念教育⇒浸透⇒実践へと落とし込んでいく研修を実施し、意識改革とモチベーション向上を実現。

現在は中小企業診断士として、BtoBマーケティングや地域活性化等のコンサルティング活動に従事している。

【内 容】

- 幸之助の経営理念の実践法
- 幸之助が成功した行動原理
- 企業を支える人材育成の要諦ほか

